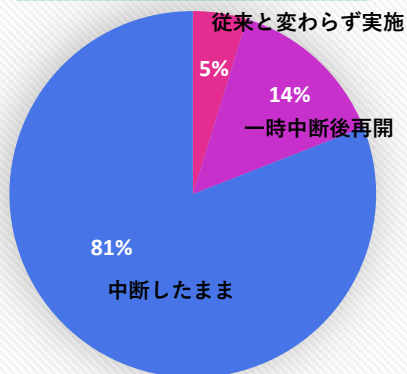
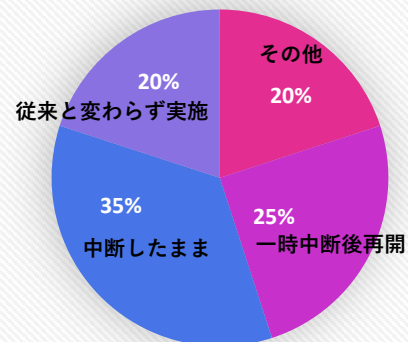


1. 緊急事態宣言(2020年4月)以降の傾聴活動

施設傾聴の状況

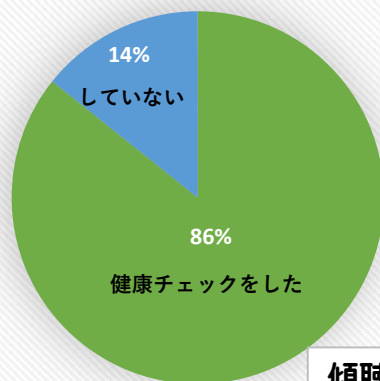


個人傾聴の状況

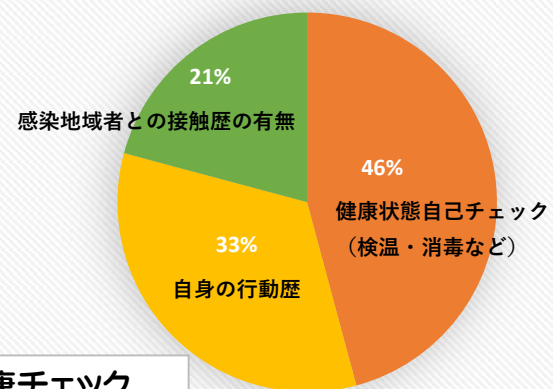


施設傾聴は81%が活動中断。個人傾聴は一時中断も含めて活動実施が45%
個人傾聴の際の感染対策は「換気」以外はとっている

傾聴者の健康チェック



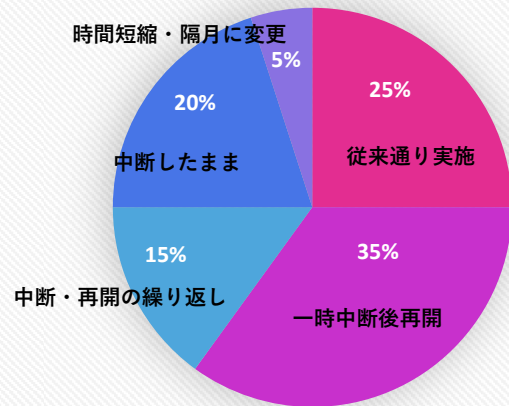
健康チェックの内容



傾聴活動を継続している場合の健康チェック

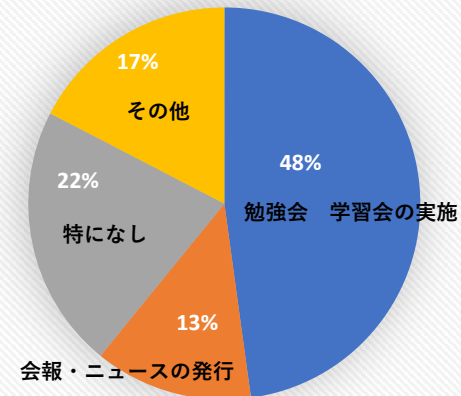
2. 傾聴グループの活動について

定例会・連絡会



会員同士のつながりを保つために実施している。
時間短縮、毎月を隔月に変更 会場の確保など工夫。

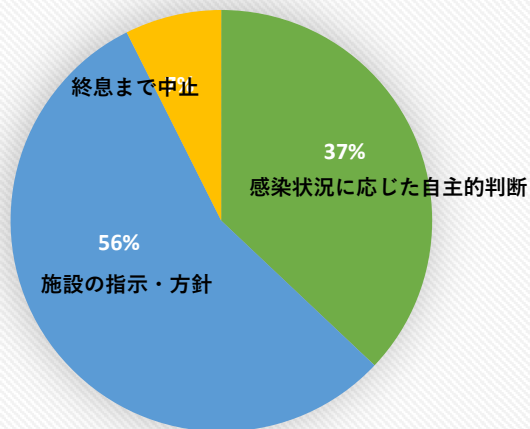
この期間新たに取り組んだこと



- ・会員のつながりを維持するための会報・通信の発行を工夫
- ・スキルの維持やスキルアップのために「月刊傾聴ボランティア」などを学習資料として読み合わせたり、配布する
- ・ロールプレイングの実施 認知症講座参加呼びかけ 冊子作成など
- ・新会員とのつながりを保つため定例会出席の呼びかけ、資料作り
- ・自由に語り聴くピアサポート

3. その他

傾聴の実施・中止の判断



地域により若干の違いはあるが、福祉施設は家族の面会も禁止の状態
ボランティアの受け入れも当然中止 高齢者施設がクラスターになる
ことが多い状況